

オアシススケッチ

～まちの話題～

●「虫供養」本番を前に土用干し



白沢区民館で行われた土用干し

虫供養の行事の一環として行われる「土用干し」が7月31日、白沢区民館でありました。

土用干しは、掛け軸や道具などを飾り、夏の風に当て、カビや虫の害から守り、痛みを防ぐとともに、供養の行事にもなっています。町指定文化財の12幅の掛け軸などが並ぶ会場には、先導する導師の声や同行衆の唱和する百万遍念仏が響いていました。

土用干しと冬に行われる「寒干し」は、9月の秋分の日にある本番に向けて、当番地区で毎年行われる大切な行事です。

●矢勝川堤防に球根植栽



球根を植える参加者

矢勝川沿いにヒガンバナを増やそうと7月24日、親子連れなど67人が参加し、6,000個の球根を植えました。

矢勝川周辺の美化に関心を持ってもらうため、ボランティア団体「矢勝川の環境を守る阿久比地区会」が主催し、愛知県の「あいち森と緑づくり環境活動交付金」事業として実施しました。

この堤防は、阿久比中学校の生徒も春に球根を植えています。新美南吉の童話『ごんぎつね』に登場する矢勝川が赤い花で染まるように参加者は作業しました。



八月八日(月)
アサガオの花が咲きました。
色鮮やかな花が十個ほど確認できました。
涼しげなアサガオを眺めて、まだまだ続きそうな暑い日を楽しみ切りたいと思います。

「緑のカーテン」栽培に挑戦 (第六回)



八月十二日(金)

一緒に寄せ植えしたケナフが一メートルほどの高さで成長し、白い花を咲かせました。

ケナフの起源は古く、原産地はアフリカといわれています。ケナフは、育つのが早く、二酸化炭素を多く吸収します。しかも、木材パルプの代替資源として注目を浴びています。

□問い合わせ先 環境衛生課
(48)1111 (内310)